平成 31 年２月 21 日
教育長記者会見資料（抜粋）

県立高等学校改革プランの基本プランについて

１　基本プラン策定までの経緯

(1) 茨城県高等学校審議会答申（平成 30 年 12 月）

諮問事項：人口減少をはじめとする様々な社会の変化に対応した活力と魅力ある学校・学科の在り方について

(2) パブリックコメント（平成 31 年１月～２月）

〈主な意見〉

【県立高等学校の適正配置・適正規模】

① 適正規模・適正配置に関する考え方は適切であり，学級数を基準とした高校再編は避けるべきである。
② 少子化で学校の規模が小さくなるのはやむを得ないので，活気あふれる活動を生徒が経験できるような工夫をしてほしい。
③ 募集定員を減らしても学校は残してほしい。しかし，「共同の学び」など小規模な学校でも高校生がよりよい高校生活を送れるように配慮してほしい。
④ 統合して高校の数を減らすのは仕方がない。

【魅力ある学校・学科の在り方】

① 普通科の進学校では，進路が大学進学に偏っているので，専門学校や就職の魅力を知ることができるようなコースを設置したり，ビジネスマナーなどの科目を学べるようにしてほしい。
② 特徴ある地域資源を活用した新しい普通科教育の検討をしてほしい。
③ 技術の進歩に対応した職業教育を実施するための環境を整備してほしい。
④ 総合学科は，どの地域の生徒でも通えるような配置にしてほしい。
⑤ 中高一貫教育校は増やしていくといい。
自宅から通える範囲に２，３校作るべき。
⑥ 生徒への指導においては文章を読んだり書いたり，自力で計算して新たな課題を見つけていく基礎力が非常に重要である。
⑦ 科学教育や国際教育は全ての高校生にとって重要な教育である。
⑧ 日本語を母語としない生徒への指導充実のため，少人数学級編制が必要である。

２　基本プランの概要

(1) 計画期間

基本プラン（2020～2026 年度）
※実施プランはⅠ期（2020～2023 年度）とⅡ期（2024～2026 年度）に分けて策定

(2) これからの県立高等学校が果たすべき役割

・「地域の中の学校」として，地域の人財を地域で育成
・新たな価値を創造するという「起業家精神」を育成

(3) 基本プランの特徴

【県立高等学校の適正規模・適正配置】

・県内を 12 のエリアに分け，学校・学科の配置を検討
・県内全ての地域に一律で適用する適正規模の基準は設けない
・小規模化が進んだ場合には，地域の意見に配慮しつつ，共同の学びを行う高校のグループ化や，統合・分校化も検討

【魅力ある学校・学科】

・普通科において，県と学校のビジョンに沿った類型コースを検討，実社会で役立つ教育を推進
・新たなエリア区分のうち，原則として未設置の地域に中高一貫教育校の設置を検討
・日本語の習得が充分でない生徒への支援について検討

県立高等学校改革プランの実施プランⅠ期（第１部）について

１　県立高等学校改革プランの実施プランⅠ期（第１部）の位置づけ

実施プランⅠ期（2020～2023 年度）
- 第１部（2020～2022 年度）中高一貫教育校設置
- 第２部（2021～2023 年度）　類型コース設置、学科の構成変更

実施プランⅡ期（2024～2026 年度）

２　実施プランⅠ期（第１部）の概要

(1) 中高一貫教育校設置のねらい

より通学しやすい場所に中高一貫教育校を設置
地域課題の解決等を通じた探究的な学び　(「起業家精神」)

⇒ **「地域の中の学校」における中心的役割**

⇒ **地域のリーダー，地域での学びをベースに世界に飛び立つ人財の育成**

(2) 対象校等

《2020 年度開校（初年度入学生：平成 30 年度小学５年生)》

エリア	対象校	改編の内容	募集学級数等
②	太田第一	併設型中高一貫教育校 (併設型中学校１,併設型高等学校６) ＊太田第一５	併設型中学校１，併設型高等学校５ ＊太田第一４ ※併設型高等学校は，2020年度と2023年度にそれぞれ学級減（予定）
⑤	鉾田第一		
⑥	鹿島		
⑨	竜ヶ崎第一		
⑪	下館第一		

《2021 年度開校（初年度入学生：平成 30 年度小学４年生)》

エリア	対象校	改編の内容	募集学級数等
③	水戸第一	併設型中高一貫教育校 (併設型中学校２，併設型高等学校６)	併設型中学校２，併設型高等学校４ ※併設型高等学校は，2021年度～2024年度の４年間で段階的に学級減（予定）
⑦	土浦第一		
④	勝田	中等教育学校 （前期課程３，後期課程３） ※勝田高等学校は2024年度に募集停止（予定）	中等教育学校　３ ※勝田高等学校は，2020年度と2021年度にそれぞれ学級減（予定）

《2022 年度開校（初年度入学生：平成 30 年度小学３年生)》

エリア	対象校	改編の内容	募集学級数等
⑩	水海道第一	併設型中高一貫教育校 (併設型中学校１，併設型高等学校６)	併設型中学校１，併設型高等学校５ ※併設型高等学校は，2022年度と2025年度にそれぞれ学級減（予定）
⑪	下妻第一		

(3) 中高一貫教育校での特色ある取組

「地域の中の学び」を通して，探究活動，国際教育，科学教育等に重点を置いた教育を６年間で計画的・継続的に展開

（例）探究活動 … 地元の課題などをテーマとして取り上げ，地域の関係機関と連携した活動を展開
国際教育 … ＩＣＴを活用し，海外の高校や中高一貫教育校同士等の交流等を通して，実践的な英語力を育成
科学教育 … 茨城県ならではの素材や課題を対象とした探究活動

３　今後の予定

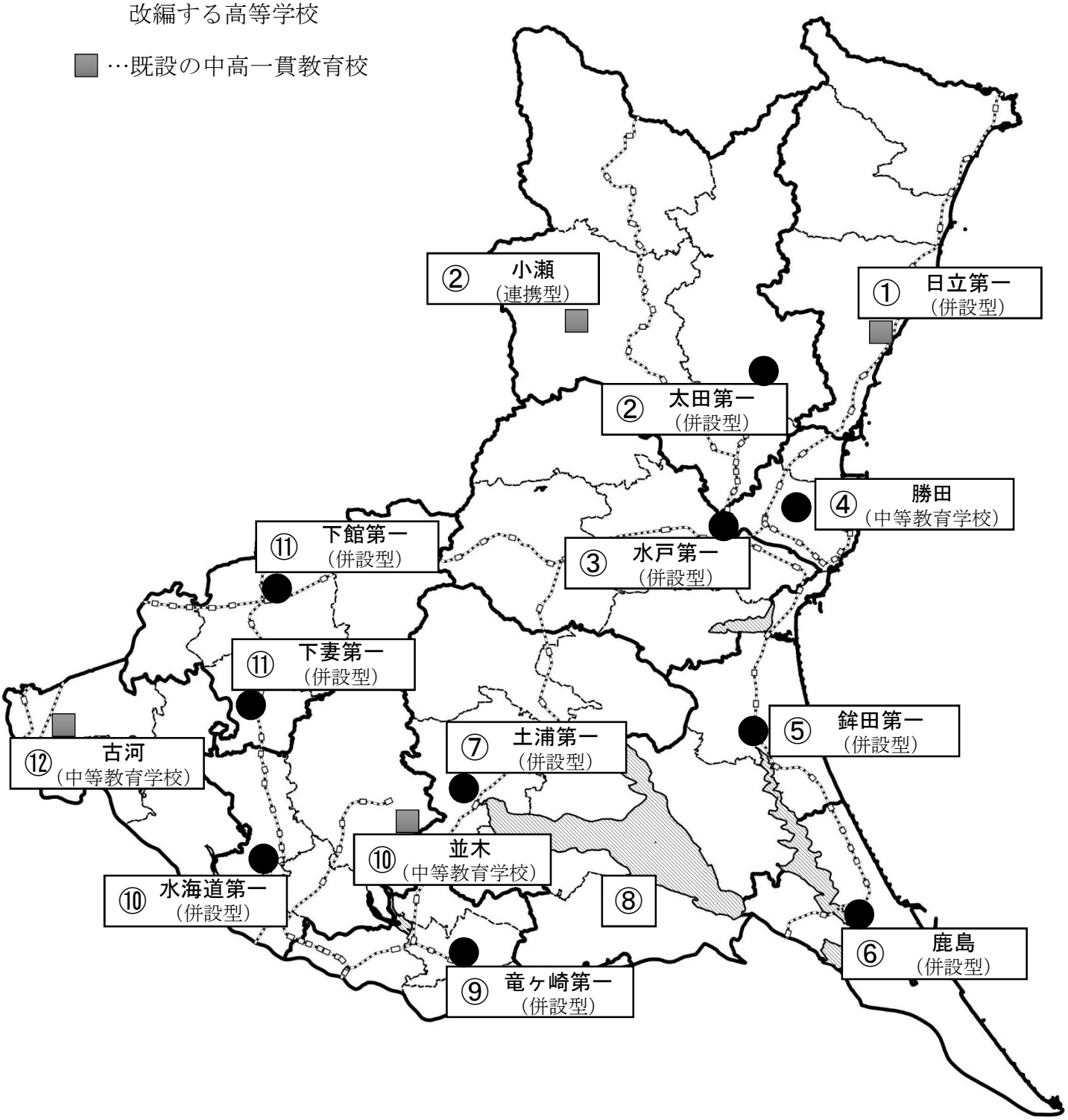
児童・保護者等向け説明会の開催（県主催，2020 年度開校の５校対象）

期日	場所	対象校
平成 31 年３月 26 日（火）	レイクエコー	鉾田第一，鹿島
平成 31 年３月 27 日（水）	常陸太田市生涯学習センター	太田第一
平成 31 年３月 28 日（木）	筑西市立生涯学習センター（ペアーノ）	下館第一
平成 31 年３月 29 日（金）	龍ケ崎市民文化会館	竜ヶ崎第一

※参加申込：県教育委員会ＨＰに掲載から電子申請システムにより申込（申込開始:３月１日（金）10:00）

※2021 年度・2022 年度に開校する５校については，2019 年度以降に開催予定

中高一貫教育校配置図　丸数字は基本プランにおける12エリアの番号

●…新たに中高一貫教育校に
改編する高等学校

■…既設の中高一貫教育校